

Cente Technical Information

発行番号	001-0031	Rev	第1版	発行日	2010/04/02
題名	セーブキャッシュ時にデバイスへのアクセスに失敗した場合、FAT、ディレクトリ領域用のセマフォ返却が行なわれない問題について				
情報分類	技術情報				
適用製品	Cente FileSystem Ver5.70				
影響API	save_cache, fopen, fclose, fflush, rename, remove, vfopen_hash, remove_hash, move, chg_attr, chg_tstamp, chg_filelen, mkdir, rmdir, chk_dsk, ini_pwc, ct_divide, ct_ins_clust				
関連資料	なし				
【詳細】 以下のそれぞれの条件下において、 <ul style="list-style-type: none">・save_cache()実行時・遅延書き込み処理マクロ(fs_cfg.h)有効時・キャッシュ自動保存マクロ(fs_cfg.h)を有効にした状態でのキャッシュ保存を伴うAPI実行時 キャッシュ保存処理時にデバイスへのアクセスに失敗した場合、FAT/ディレクトリエントリ領域用に取得したセマフォ資源の返却が行なわれず、セマフォを獲得した状態のままになってしてしまう。					
【症状】 デバイスへのアクセス失敗後、FAT/ディレクトリエントリ領域に対してアクセスすることができなくなるため、FAT/ディレクトリ領域にアクセスするAPIを実行した際、エラーが返される。					
【回避方法】 <ul style="list-style-type: none">■運用での回避方法 以下の条件を満たすことにより、運用で回避することが可能です。<ul style="list-style-type: none">・FAT及びディレクトリキャッシュを使用しない。■プログラム修正による回避方法 fs_cache.cのfs_save_cache()に修正が必要です。 修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。					
以上					